久留米工業高等専門学校		開講年度	令和06年度 (2024年度)	授業科目	工業英語	
科目基礎情報						
科目番号	4A07		科目区分	専門 / 必修		
授業形態	講義		単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	機械工学科		対象学年	4		
開設期	後期		週時間数	2		
教科書/教材	適宜、参考資料およびレポートとしてプリントを配布する。参考図書：機械系の工業英語（牧野州秀，生水雅之，コロナ社）。機械を説明する英語（野澤義延，工業調査会）					
担当教員	石丸 良平					
到達目標						
1. 基礎的な英単語力を身につけることができる。 2. 簡単な工業英語の英文を理解できる。 3. FE試験問題レベルの英文を理解できる。						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	基礎的な英単語を400語覚えることができる。		基礎的な英単語を240語覚えることができる。		基礎的な英単語を240語覚えることができない。	
評価項目2	簡単な工業英語の英文を理解でき、適切に和訳できる。		簡単な工業英語の英文を理解でき、ある程度和訳できる。		簡単な工業英語の英文を理解できない。	
評価項目3	FE試験問題レベルの英文を理解できる。		FE試験問題レベルの英文をある程度理解できる。		FE試験問題レベルの英文を理解できない。	
学科の到達目標項目との関係						
1 4 JABEE G-2						
教育方法等						
概要	工業英語の読解力をつけることを目的とし、簡単な英文を理解できる能力を身につけることを目的とする。実務経験のある教員による授業科目：この科目は、企業で機器設計を担当していた教員がその経験を活かし、現場でのものづくりの基礎となる技術英語の事例を含めた講義を行うものである。					
授業の進め方・方法	授業中にプリントを配布し、これを各自が解くことで、工業英語に用いられる基礎的な表現・単語等を身につける。自らが積極的に問題を解いていく必要がある。また、専門分野の文章では辞書に掲載されていない特殊な単語があることを知り、持てる想像力を駆使して内容を理解しなければならない。					
注意点	点数配分：小テスト（毎回講義の初めに実施する）、および中間試験と期末試験をそれぞれ100点満点で行い、総合成績は(小テストの合計点)×0.2+(中間試験の点数)×0.4+(期末試験の点数)×0.4=100%満点で評価する。 評価基準：総合成績60点以上を合格とする。 再試験：原則として学年末に1回のみ行い、最高点は60点とする。 事前学習として、課題となっている英単語を暗記すること。					
授業の属性・履修上の区分						
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		
☒ 実務経験のある教員による授業						
授業計画						
		週	授業内容	週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	ガイダンス	授業の全体像を理解できる。		
		2週	Dynamics (動力学)	動力学に関する英文を理解できる。		
		3週	Dynamics2 (動力学2)	動力学に関する英文を理解できる。		
		4週	Fluid Mechanics (流体力学)	流体力学に関する英文を理解できる。		
		5週	Fluid Mechanics2 (流体力学2)	流体力学に関する英文を理解できる。		
		6週	Mathematics (数学)	数学に関する英文を理解できる。		
		7週	Mathematics2 (数学2)	数学に関する英文を理解できる。		
		8週	Chemistry (化学)	化学に関する英文を理解できる。		
	4thQ	9週	Statics (静力学)	静力学に関する英文を理解できる。		
		10週	Material Science (材料科学)	材料力学に関する英文を理解できる。		
		11週	Thermodynamics (熱力学)	熱力学に関する英文を理解できる。		
		12週	Thermodynamics2 (熱力学2)	熱力学に関する英文を理解できる。		
		13週	長文演習	長文を読むことができる。		
		14週	長文演習	長文を読むことができる。		
		15週	長文演習	長文を読むことができる。		
		16週				
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標						
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週	
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用の基礎となる知識	中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要な英語専門用語を習得して適切な運用ができる。	3	後1
				中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。	2	後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12

		英語運用能力の基礎固め	平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。	3	後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12
		英語運用能力向上のための学習	自分の専門分野などの予備知識のある内容や関心のある事柄に関する報告や対話などを毎分120語程度の速度で聞いて、概要を把握し、情報を聞き取ることができる。	2	後13,後14,後15

評価割合

	試験	英単語テスト	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	80	20	0	0	0	0	100
基礎的能力	60	20	0	0	0	0	80
専門的能力	20	0	0	0	0	0	20
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0